

令和3年度（2021年度）  
事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	大阪府商工会連合会
	代表者職・氏名	会長 早川 巖
	所在地	〒540-0029 大阪府中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階
	担当者	職・氏名 事務局長 中島 和典
	連絡先	TEL（直通）： 06-6947-4340 Fax： 06-6947-4343 E-mail： <a href="mailto:shokoren@osaka-sci.or.jp">shokoren@osaka-sci.or.jp</a>
①設立年月日	昭和36年10月17日	
②職員数 （うち経営指導員数）	20名（経営指導員19名）（令和4年4月1日現在）	
③所管地域	大阪府内全域	
④管内事業所数	382,940（平成28年度経済センサス）	
⑤管内小規模事業者数	257,517（平成28年度経済センサス）	
⑥会員数（組織率）	16商工会（令和4年4月1日現在）	
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること		
□主な事業概要（定款記載事項等）		
本商工会連合会は、地域（大阪府）内における商工会の健全な発達を図り、もって商工業の振興に寄与することを目的とする。この目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。 （1）商工会の組織又は事業について指導又は連絡を行うこと。 （2）商工業に関する専門的事項について相談に応じ、又は指導を行うこと。 （3）商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 （4）商工業に関する調査研究を行うこと。 （5）展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 （6）商工業に関する技術又は技能の普及又は検定を行うこと。 （7）商工貯蓄共済事業を行うこと。 （8）関係団体との提携又は連絡を行うこと。 （9）商工会の意見を総合してこれを発表し、又は国会・行政庁等に具申し、若しくは建議すること。 （10）行政庁等の諮問に応じて答申すること。 （11）前各号に掲げるもののほか、本連合会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。		

## (1) 事業の目標

府内商工会地域企業の約96%が小規模企業であり、その内、約70%が従業員2名以下の企業である。これら企業は、資本金、開発力等の経営体質の脆弱な企業が多く、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、長引くデフレや世界的不況などの環境の変化や昨今の原材料の高騰や使用電力料金増、消費税増税等の経営圧迫要因等によって、厳しい業績悪化をきたし、休業、廃業や倒産に至る企業も少なくない。またタオルや毛布、メリヤス製造等の繊維産業や竹細工、ガラス工芸品や毛筆等の商工会地域の地場産業も衰退あるいは衰退傾向にある。本会の景況調査の結果によると、前述の環境要因や経営圧迫要因等の影響により、景況DIはマイナスを示している。このため、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、商工会の支援能力を強化するとともに、これら企業の抱える問題点、課題等の解決や環境変化等に対応し得る体質強化に向けた支援活動等を広域的に実施し、企業活力の強化を図り、地域活性化を促すことを目標とした。

## (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

- 1.商工会と本連合会との一体的なワンストップ相談機能をより強化するため、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、経営指導員ならびに専門家活用による支援の迅速化等を図り、倒産防止等を含めたあらゆる問題点等の解決支援の相談対応を行った。また、各種セミナー（オンライン等）を開催し、現代的知識等の習得を促した。
- 2.地域活性化を促すため、地域資源等を活用した新事業の発掘とその助成、そして、地域コミュニティの形成、強化のためのSB/CB、NPOの支援、育成活動等を実施した。
- 3.地域企業の販路開拓の促進支援に向け、販路開拓セミナーの開催と併せ、販路を現実に生み出すため、大阪商工会議所等との共催で、大阪勧業展を開催した。さらに、地域資源を活用した新商品の市場性の把握・他地域へのPRや販路開拓を目的として全国物産展への出展支援を実施した。
- 4.これからの企業人育成のため、事業承継者等（若手経営者、後継者）、女性経営者等の育成支援を実施した。
- 5.大災害等の際への事業継続対策たるBCP・BCM策定支援や企業のコスト削減を促すコスト削減計画作成支援等を実施した。

## (3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

商工会とも一体となった広域的な地域企業の支援活動を、ワンストップ相談機能を強化して実施し、地域企業が抱える経営上の様々な課題や問題点の解決、労務問題や財務知識、財務分析等の修得などの幅広い支援を実現できた。また、専門家活用による企業の抱える専門的事項の解決支援や地域資源（一次産品を含む）や機械技術等を活用した新事業の創出、地域コミュニティの育成、強化、ビジネスチャンス創出に向けた取り組み、更に販路開拓やコスト削減、災害時対策支援など、地域活性化、企業活力醸成に向けた支援活動等、地域及び地域企業から望まれる必要な支援を体系的に強化して実施し、企業活動の強化・地域活性化の推進に寄与できた。

## (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

各商工会間の支援能力の差異を、本連合会の広域支援体制の中で解消すべく努めてきたが、商工会によっては未だ組織、財政基盤の違い等から事業面での隔たりが伺える。このため、各商工会の支援能力の更なる平準化を図る必要がある。また、本連合会と各商工会は一体となって企業支援活動に取り組んでいるが、CSR啓発事業やSB/CB支援事業のように各商工会議所との連携を前提として企画している事業について、各商工会議所との連携が充分とは言えない状況下にあるため、この連携構築が課題となっている。地域企業への各種施策等の情報提供、浸透活動としてホームページ等にて普及、啓発を実施してきたが、企業への浸透活動に更に力を入れ、各企業に応じた施策の紹介、活用を促進していく必要があると考えている。

## (5) 次年度の取り組み

各商工会間の支援能力の差異を完全に解消し、各商工会の支援能力の更なる平準化を図る必要があるため、経営指導員研修と経営指導員OJT事業について、より一層充実を図り、実施していく。また、本連合会と各商工会との間は一体となって企業支援活動に取り組んでいくために適宜情報共有を図っていく。CSR啓発事業やSB/CB支援事業のように各商工会議所との連携を前提として企画している事業について、事業への参画を検討してもらえよう各商工会議所を巡回し、事業について丁寧に説明を行っていく。

### 3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 大阪府商工会連合会

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>・大阪府内の事業所約38.2万社を対象として、各種の相談、支援を行った。</p> <p>・本事業推進にあたっては、とりわけ、各商工会や専門家、関係機関等との連携を強化し、あらゆる相談等に対し対応し得る体制を整備して、ワンストップ機能の一層の向上、充実に努めた。また、熊本地震や大阪北部地震等を経て、災害等の際の事業継続対策として、企業に対し、BCP（事業継続計画）の必要性や対策に関する知識強化等の相談支援を実施した。</p> <p>・各商工会や専門家、関係機関等との連携の強化により、高度な相談に対してもより円滑に支援ができた。BCP・BCM策定支援など時宜を得た支援活動を実施し、より適切、効果的な支援が行えた。</p> <p>(代表事例)                      大阪中部地域の海外へのネット販売業。日本製品をインターネットを通じて海外の消費者に販売。創業以来売上を伸ばし、順調に事業を進めていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、海外への輸出業務の停止にともない売上が激減した。これにより、新規事業（就労継続支援B型事業所の開設）を目指した支援を希望、事業計画作成支援を行った。その結果、補助金の採択も受けることができ、コロナ禍においても売上回復が見込めることとなった。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	419	450	107.4%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	12	11	91.7%	5	
金融支援（紹介型）	支援数	2	1	50.0%	5	
金融支援（経営指導型）	支援数	3	1	33.3%	5	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	0	0.0%	1	
資金繰り計画作成支援	事業所	2	0	0.0%	1	
記帳支援	事業所	145	29	20.0%	5	
労務支援	支援数	251	174	69.3%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	1	1	100.0%	5	
マーケティング力向上支援	事業所	12	2	16.7%	5	
販路開拓支援	支援数	7	6	85.7%	5	
事業計画作成支援	支援数	17	8	47.1%	5	
創業支援	事業所	5	0	0.0%	1	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	144	299	207.6%	5	
コスト削減計画作成支援	事業所	20	26	130.0%	5	
財務分析支援	事業所	19	65	342.1%	5	
5S支援	事業所	34	6	17.6%	5	
IT化支援	事業所	150	229	152.7%	5	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	#DIV/0!		
事業承継支援	事業所	1	1	100.0%	5	
災害時対応支援	事業所	45	16	35.6%	5	
フォローアップ支援	事業所	0	0	#DIV/0!		
結果報告	事業所	419	450	107.4%	5	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>最善策支援を行うため、専門スタッフを配置し経営安定相談室を本会に設置しており、倒産の恐れのある府内中小企業者を対象として、関係機関等と連携・協力しながら円滑に支援した。経営的に見込みのある企業に対しては、再建方策を講じるとともに、法務、税務、労務、経営の各課題について必要な支援を行い、見込みのない企業に対しては、円滑な整理を勧め、その整理方法等の相談支援を実施した。本事業を通じ、企業再建に資するとともに、中小企業の倒産に伴う社会的混乱等の未然防止に寄与した。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
経営安定特別相談事業	継続	相談件数	35	38	108.6%	5
法務支援	継続	相談件数	54	54	100.0%	5
税務支援	継続	相談件数	9	9	100.0%	5
労務支援	継続	相談件数	137	132	96.4%	5
経営支援	継続	相談件数	228	230	100.9%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>・各商工会と本連合会が一体となった広域的な事業展開をベースとして、商工会全体の支援能力の更なる平準化や補完、強化を図るとともに、事業の基本としては、商工会地域全体にかかる課題、問題点等をテーマとした事業や府施策との連携による事業、地域資源活用等により新たな取組みを行う企業の発掘等に力点を置いた。</p> <p>事業は広域的に実施し、新型コロナウイルス感染拡大防止への観点から、セミナー実施においてはWEB開催も実施する等、コロナ禍においてもより多くの人に参加してもらう方法で、各地域や地域企業に共通する課題、問題点等への対応や府施策の浸透等に努めた。</p> <p>・これら事業を通じて、各種セミナー事業等による企業人としての意識の高揚、各種情報、知識力の強化等を促せるとともに、勧業展による企業の販路創出や商品、製品の市場性把握、そして、コスト削減やBCPの必要性の啓発普及、府施策の周知浸透等に効果があった。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	創業支援事業	40	21	52.5%	90.5	創業に取り組みたくなった参加者割合	70%	76.20%	108.9%	5
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	次代を担う若手経営者等の育成支援事業	218	224	102.8%	97.8	経営上の課題解決及び自身の資質向上につながった事業者割合	70%	68.30%	97.6%	5
	女性リーダー養成事業	194	219	112.9%	94.5	女性経営者等が知識を習得し、課題解決につながったと回答	80%	99.10%	123.8%	5
	地域産業資源活用商品販路開拓事業	20	19	95.0%	78.9	商談割合	30%	31.60%	105.4%	5
○	事業継続計画(BCP)策定支援事業	203	207	102.0%	95.2	・事業継続計画(BCP)を策定した企業数・新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを策定	100%	100%	100.0%	5
○	経営トピックセミナー配信事業	534	414	77.5%	93.5	セミナーテーマに対する理解および意識の高まった企業割合	70%	95.20%	136.0%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

大阪府商工会連合会

事業名		創業支援事業								
想定する実施期間		H28 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪府内の創業の促進を積極的に推進し、起業家の育成、強い大阪企業の実現を目指す。創業が気になっているが具体的にはどうしてよいかわからない者から、創業を考えている者、創業を目指す者、副業・兼業を考えている者までを広く対象とし、自身のアイデアを形づかせるようなセミナー、創業機運醸成するようなセミナーをし、創業を働き方の一つとして検討してもらうことを目的とする。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	創業が気になっている者、創業を考えている者、副業・兼業を考えている者、新たな事業を立ち上げようとする大阪府内中小企業経営者、中小企業従業員、大学学生等								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>①創業キックオフセミナー（強み）の開催                      日時：令和4年1月29日(土) 14時～16時                      場所：ONtheUMEDA SeminarRoom 参加者数：7名                      創業に興味・関心を持っている方を対象に開催した。創業に対しての想いが見える化することにより創業への興味・意欲を喚起するような内容にし、創業への意欲を持った者に対してファーストステップにつながるようにした。また、商工会地域での創業支援についても周知を行い、各地域での創業支援窓口として商工会を紹介した。</p> <p>②創業キックオフセミナー（地域）の開催                      日時：令和4年3月8日(火) 14:00～16:00、11日(金) 18:00～20:00                      場所：ZOOMによるWEB開催 参加人数：14名                      ZOOMによるWEB開催した。創業への興味、意欲を喚起するような内容にし、働き方の選択肢として創業を検討してもらい、創業への意欲を持った者に対してファーストステップにつながるようにした。また、商工会地域での創業支援についても周知を行い、創業支援窓口として商工会を紹介した。</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>								
		①府施策連携	セミナー内で大阪府創業支援ポータルサイトの紹介やビジネスプランコンテスト等、大阪府の創業施策説明を行った。							
		②広域連携								
		③市町村連携	創業支援事業計画に参画している市町村等と広報で連携した。							
	④相談相乗	セミナー受講後の問い合わせ対応など、個別の受講者に相談対応を行った。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	52.5%	満足率	90.5%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	漠然と創業したいと考えている方が創業キックオフセミナーを受講することで、漠然とした想いが見える化することができ、具体化するきっかけとなった。また、他の参加者と交流を深めることで、創業実現へのモチベーションアップにつながったと考えられる。								
		代表指標	創業に取り組みたくなった参加者割合							
		数値目標	70%	実績数値	76.2%	目標達成度	108.9%			
	成果の代表事例	八尾市の農業ビジネスを検討されている方に、販路開拓や農業の6次産業化について「中部農と緑の総合事務所」を紹介し、具体的な取り組み事項について解決を行い、創業実現につながった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	創業キックオフセミナー（強み）については、ブロックを使った創業への想いが見える化する内容であったためリアルでの開催にしたが、開催前日に大阪府で新型コロナウイルス感染者が初めて1万人を超えたことによる影響により、前日・当日のキャンセルが多くなり参加者が少なくなりました。そこで、3月は当初よりWEB開催とすることで一定の参加者を確保することが出来た。また、参加者の創業に対しての思いや取り組みが個人ごとに差があるので、より具体的な創業目標のある参加者には、公共機関、府施策の紹介や商工会の窓口相談を利用するように積極的に働きかけ、スムーズな創業に繋げる。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	7.0	支援実績率	35.0%	満足率	85.7%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	創業キックオフセミナー（強み）への参加により、自身の強みをどういった機会に投入すれば事業ができるかを考える機会となり、創業へのモチベーションが高まった。また、創業を考えた時に大阪府内の身近な創業支援機関として商工会があるということを知る機会になり、利用することができるようになった。							
		指標	創業に取り組みたくなった参加者割合						
	数値目標	70%	実績数値	71.4%	目標達成度	102.0%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足率	92.9%
	目標の達成度（支援企業をどう変化させることができたか）	創業キックオフセミナー（地域）への参加により、地域資源や地域人材を活用した事業について考える機会となり、創業へのモチベーションが高まった。また、創業を考えた時に大阪府内の身近な創業支援機関として商工会があるということを知る機会になり、利用することができるようになった。							
		指標	創業に取り組みたくなった参加者割合						
	数値目標	70%	実績数値	78.6%	目標達成度	112.3%			
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				

大阪府商工会連合会

事業名		次代を担う若手経営者等の育成支援事業							
想定する実施期間		H29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>東京商工リサーチによると、平成30年における老舗企業（創業100年以上）の倒産・休廃業・解散件数は、465件発生し過去最多となったとのことである。背景には後継者不足に加え、昨今の急激な経営環境の変化に耐えられず、経営が行き詰ったことが挙げられる。</p> <p>特に近年の経済社会情勢は、上記以外にも少子高齢化による人材不足、消費税増税、キャッシュレス化、IT化の推進等、その変化は目まぐるしいものであり、老舗企業だけでなく、日本の大半を占める小規模事業者にも降りかかるであろう問題でもある。このような時代で、今後も安定的に事業を持続していくためにも、近年の急激な変化に取り残されず、柔軟に対応できる経営者及び後継者候補の育成が重要となる。</p> <p>そこで本会では次代を担う若手経営者・後継者候補（以下、若手経営者等）が所属する事業所が抱える経営上の課題・問題点及び社会経済情勢を把握し、経営力の向上（販路開拓、人材育成、事業承継、業務効率化等）や次世代の若手経営者等自身の資質の向上を支援し、これにより地域の活性化にも寄与することを目的として、大阪府内16商工会との広域連携により本事業を実施した。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	今後大阪府の地域経済を担っていくであろう概ね45歳以下の若手経営者・後継者候補等を対象に実施した。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>令和3年度は新型コロナウイルスの影響もあり、WEB配信を利用したオンライン形式の研修会を実施。</p> <p>【交流研修会】</p> <p>①日 時：令和3年12月13日（月） 参加企業数：63社 テーマ：「共に学ぼう 商売はロマンと算盤のバランスや！！」</p> <p>②日 時：令和4年2月8日（火）参加企業数：52社 テーマ：「アフターコロナを見据えた海外販路拡大研修」、「国が考える政策～地域を活性化する～」 ※①、②ともにYouTubeを利用したライブ配信を実施。</p> <p>【勉強会】</p> <p>北、中、南の3ブロックにて実施。</p> <p>①北ブロック：島本町 日 時：令和4年2月16日（水） 参加企業数：31社 テーマ：「クラウドファンディング活用セミナー 新型コロナウイルス禍での新たな販路開拓への取組について」</p> <p>②中ブロック：大阪狭山市 日 時：令和4年2月7日（月） 参加企業数：40社 テーマ：「経営者のための健康経営セミナー ～企業の持続的な発展と従業員の幸せな人生のために～」</p> <p>③南ブロック：熊取町 日 時：令和4年2月1日（日） 参加企業数：30社 テーマ：「事業承継に向けた検討すべき社内体制整備強化及び福利厚生充実」 ※①はZoom、②、③はYouTube利用したライブ配信を実施。</p> <p>【ハンズオン支援】</p> <p>8社 若手経営者等が事業計画の作成に取り組むことで、自社の現状及び課題を把握し、課題解決のきっかけとすることができた。</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>							
		<table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td>広域連携により、他地域の情報を得る事ができ、自社に活用できるノウハウ等を与えることができた。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>各事業においては、大阪府内16商工会と連携し、事業プラン、計画等のブラッシュアップを支援し相乗効果を図った。</td> </tr> </table>	①府施策連携		②広域連携	広域連携により、他地域の情報を得る事ができ、自社に活用できるノウハウ等を与えることができた。	③市町村連携		④相談相乗
①府施策連携									
②広域連携	広域連携により、他地域の情報を得る事ができ、自社に活用できるノウハウ等を与えることができた。								
③市町村連携									
④相談相乗	各事業においては、大阪府内16商工会と連携し、事業プラン、計画等のブラッシュアップを支援し相乗効果を図った。								

事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	218.0	総支援企業数(実績)	224.0	支援実績率	102.8%	満足率	97.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により日本経済は停滞が続いているが、そのような中でも生き残っていくために必要となる商人（あきんど）としての心構えの再認識を図るためのセミナーを実施した。セミナーを通じ、若手経営者等としての資質の向上、自社の事業の課題解決に寄与することができたと思われる。</p> <p>また若手経営者等にとっては今後の自社の現状を見つめなおすきっかけにもなった。その結果、自社の事業を客観的に見直し、経営課題の解決や改善の実現のため、実際に取り組んでいくという回答もあった。</p> <p>セミナーに参加した若手経営者等に対し、ハンズオン支援を実施し、必要なフォローアップを図ることで、課題解決に向けたより具体的なアドバイスを送ることができた。</p>							
	成果の代表事例	ブロック別研修会において事業承継が控えているため参考になったという声をいただいた。事業承継について事前準備が重要となるので今後とも必要な支援を実施していく予定である。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
	代表指標	経営上の課題解決及び自身の資質向上につながった事業者割合							
	数値目標	70%		実績数値	68.3%		目標達成度	97.6%	
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	<p>新型コロナウイルス感染症を考慮して、現地参加者数を限定し、WEB配信も実施しての開催であったため、交流という部分では現地参加者とWEB参加者との間で多少の温度差はあったのではないかなと思う。次年度以降はZoomやGoogleWorkspace等のブレイクアウトセッション等の利用を検討したい。</p> <p>また令和4年度の取組みとしてはアフターコロナを見据え、日本経済がコロナ前の状態に立ち戻った際でもしっかりと対応できる体制を整える必要があると考える。そのため、人材確保（採用・育成・定着等）や業務効率化（キャッシュレス、DX等）に重点を置いたセミナーの実施を検討し、若手経営者等としてのさらなる資質向上の底上げを図る。</p>							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	107.0	支援企業数(実績)	115.0	支援実績率	107.5%	満足率	97.4%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>交流会：参加者同士で交流し、意見交換することで若手経営者等の意識改革につながり、自社の課題や強みを認識できた。</p>								
	指標	自社の課題や強みを認識できたと回答								
	数値目標	70%		実績数値	68%		目標達成度	97.1%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	101.0	支援企業数(実績)	101.0	支援実績率	100.0%	満足率	98.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	勉強会：若手経営者等として必要な知識を習得し、自社の経営に取り入れることができた。								
	指標	必要な知識を習得し、自社の経営に取入れたいと回答								
	数値目標	70%		実績数値	72%		目標達成度	102.9%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実績／達成度③	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	8.0	支援実績率	80.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	ハンズオン支援：若手経営者等が事業計画の作成に取り組むことで、自社の現状及び課題を把握し、課題解決のきっかけとすることができた。								
	指標	事業計画の作成等の取り組みを実施した事業所数								
	数値目標	10社		実績数値	8社		目標達成度	80.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					



大阪府商工会連合会

事業名		女性リーダー養成事業							
想定する実施期間		H28 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	成長戦略の3本目の矢である「女性が輝く日本!」、また、OSAKA女性活躍推進会議が発表した「女性が輝くOSAKA行動宣言」に女性の進出が掲げられているように、府内女性経営者約41,000人（東京商エリサーチ調査2019年度調査）のうちの商工会に属する地域の女性経営者等の約440名余りの自主的かつ広域的な事業展開を支援し、地域商工業の振興発展に取りくむとともに、地域活性化の担い手としての個々の資質向上・事業向上・経営力向上・応用力向上に取り組み、更には、府内商工会地域で8割を占めるとみられる小規模事業者の中の女性経営者等を地域のリーダーへ養成すること、また知識を習得することで女性による事業承継や管理職登用により企業で女性がいきいき活躍できる社会づくりから企業の活性化が図られ、更に地域の活性化等に繋げることを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内商工会地域の女性経営者等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	○資質向上研修会 メイン会場と14商工会をオンラインで結ぶハイブリッド型で実施 令和3年7月16日(金) テーマ:ちょっとした“ひと工夫”で信頼されて選ばれる人になる! 参加企業数:108社							
		○北ブロック女性経営者等研修会 幹事商工会と4商工会をオンラインで結ぶハイブリッド型 令和3年10月4日(月) テーマ:ワークライフバランス促進のタイムマネジメント 参加企業数:40社							
		○河内ブロック女性経営者等研修会 令和3年9月27日(月) メイン会場(3商工会参加)と3商工会をオンラインで結ぶハイブリッド型 テーマ:仕事で活かせる記憶術～生涯現役!いつまでもイキイキと輝くために～ 参加企業数:47社							
○南ブロック女性経営者等研修会 幹事商工会と2商工会をオンラインで結ぶハイブリッド型 令和3年10月12日(火) テーマ:ワークライフバランス促進のタイムマネジメント 参加企業数:24社									
<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>									
	①府施策連携								
	②広域連携	府内14商工会と連携し、全体実施と各ブロック実施を行った。							
	③市町村連携								
	④相談相乗	研修を受けることや少人数ながらも情報交換の場を持ったことで新たな経営課題に気づき、それに対して各商工会が支援を行った。							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	194.0	総支援企業数(実績)	219.0	支援実績率	112.9%	満足率	94.5%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	女性経営者等としての個々の基礎力・経営力・資質・事業の更なる向上に着手し、研修を通じて底上げが得られたと思われる。また、社会変化に即応できる女性経営者等づくりに着手した。女性経営者等としてリーダーとしてのあり方、また、社内や得意先とのコミュニケーションの取り方や経営力の引き上げ・職場環境の在り方・ワークライフバランス等について学び、改めて女性経営者等としての資質向上等に着手できた。コロナ禍での事業実施であったが、対面型とオンライン配信を両方行うことで、感染対策を講じ、各商工会や研修会場で少人数ながら集まることできた。そのことでコロナ禍での各企業それぞれの事業の取組みや今後の展開等について意見交換、情報交換といった交流を図ることができ、コロナ禍において事業を展開していく上で今後の経営へのステップアップのきっかけになった。							
		代表指標	女性経営者等が知識を習得し、課題解決につながったと回答						
		数値目標	80%	実績数値	99.1%	目標達成度	123.8%		
成果の代表事例	「信頼」をテーマにした研修を受けたことで、社内、社外での関係づくりを見直し、コロナ禍における新たな新規事業を展開するにあたり、習得した知識を活用できた。								

	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響でハイブリッド型で開催し、各商工会単位での対面開催したが、参加者から他地域とも対面で意見交換等の交流を図りたいとの声があり、次年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響次第ではあるが実施方法を検討したい。また、コロナ禍でマイクロツーリズムについて言われるなか、地域について知見を深め、魅力ある地域づくりに寄与できるように、地域について知見を深めたいという声もあるため、令和4年度は地域をよく知るといったテーマでも研修会を開催していく。					

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実績/達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	96.0	支援企業数(実績)	108.0	支援実績率	112.5%	満足率	99.1%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	コロナ禍での開催でハイブリッド型のオンライン開催であったが、参加者の知識習得・資質向上に繋がった。							
		指標	女性経営者等が知識を習得し、課題解決につながったと回答						
		数値目標	80%	実績数値	99.1%	目標達成度	123.9%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	98.0	支援企業数(実績)	111.0	支援実績率	113.3%	満足率	90.1%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	コロナ禍での開催でハイブリッド型のオンライン開催であったが、参加者の知識習得・資質向上に繋がった。							
		指標	女性経営者等が知識を習得し、課題解決につながったと回答						
		数値目標	80%	実績数値	85.6%	目標達成度	107.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

大阪府商工会連合会

事業名		地域産業資源活用商品販路開拓事業
想定する実施期間		H30 年度～ R3 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪府内商工会・商工会議所と連携をとり、大阪府が指定した地域産業資源である農林水産品や鉱工業品、観光資源等を活用して開発した地域産品や新製品に加えて、大阪府が認定している大阪産（おおさかもん）や大阪製（おおさかせい）を活用して大阪府内で開発した商品について、広く周知することを目的とする。その手段として全国商工会連合会が開催する「ニッポン全国物産展」に参加出展し、出展企業に商品・製品・技術力のPRの場を提供し、ビジネスチャンスの発見と獲得、販路拡大など、新たな顧客を生み出すことやこの物産展を通じて、消費者ニーズの把握と活性化を図ることを目的として実施する。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の推進に関する法律（平成19年法律第39号）」第4条第1項に基づき、大阪府が特定した地域産業資源や、地域固有の価値を持つ地域資源を活用した事業活動の促進と地域活性化に結び付ける中小事業者の商品や成果製品を取り扱う事業者</li> <li>・平成19年度から実施してきたおおさか地域創造ファンド事業の助成対象企業に加え、30年度からのおおさか地域産業資源活用サポート事業の採択事業者</li> <li>・大阪府が認定している大阪産（おおさかもん）や大阪製（おおさかせい）を活用して大阪府内で開発した商品を取り扱い広く発信していきたいと考えている事業者</li> <li>・経営革新計画により新たに開発した商品を広く発信していきたいと考えている事業者</li> </ul>
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>○ニッポン全国物産展への出展</p> <p>1、出展調整 府内の商工会・商工会議所との連携により出展希望、要請を受け、出展調整を行った。</p> <p>2、出展セミナーの開催 出展が決定した企業に対し、本会において出展セミナーを開催し自社製品に関する取り組みや物産展を活用した効果的な交流会を開催した。(出展希望申込企業数 14社)</p> <p>第1回 9月10日(金)午後1時30分から午後4時00分 大阪商工会議所B1階3号会議室 (参加企業数12社 13名 欠席企業2社については後日個別に説明) (内容)</p> <p>①ニッポン全国物産展出展説明会 ②さらなる売上拡大を目指す経営者のための、ビジネスを成功に導く3つの見直し ③事業者交流会の開催(物産展を活用した効果的な販売促進についての交流会を開催し販路開拓専門家を招聘して、出展事業者同士の情報交換とマインド喚起を図り各企業の販売促進策のブラッシュアップに役立てた。</p> <p>第2回 11月2日(火)午後1時30分から午後4時00分 大阪商工会議所B1階3号会議室 (参加企業数11社 12名 欠席企業3社については後日個別に説明) (内容)</p> <p>①ニッポン全国物産展出展説明会 ②今年度のニッポン全国物産展はチーム力で!! 出展の目的と行う工夫、明確化と共有化 ③事業者交流会の開催(物産展を活用した効果的な販売促進についての交流会を開催し販路開拓専門家を招聘して、出展事業者同士の情報交換とマインド喚起を図り各企業の販売促進策のブラッシュアップに役立てた。</p> <p>3、11月に開催されるニッポン全国物産展に出展(出展企業数 14企業) 11月19日(金)から21日(日)の3日間、東京池袋サンシャインシティにおいて開催されたニッポン全国物産展に支援企業14企業が出展し、開発した新製品等を展示・販売した。出展に際しては、セミナー講師にも物産展会場に同行していただき、会場において実際に商品展示や販促グッズの展示について直接支援を受けていただいた。会期中は一般の消費者をはじめ、百貨店、週刊誌、通信販売業者等のバイヤーへの売り込み支援を通じて、広く全国に向けて販路を拡大することを支援した。</p> <p>○バイヤーズルームへの出展 地域の資源・技術の活用、商工会の協力のもとに開発された特産品の普及や中小・小規模事業者の販路開拓を支援することを目的に実施。 令和3年度は商品を出品した5社のうち1社の商品が審査員特別賞受賞した。</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>
	①府施策連携	
	②広域連携	大阪府内地域産業資源の活性化に積極的に取り組む商工会・商工会議所とも連携し幅広く支援を実施する。
	③市町村連携	

		④相談 相乗							
	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	20.0	総支援企業 数(実績)	19.0	支援 実績率	95.0%	満足率	78.9%
事業 全体 の実績 ／ 目標 達成 度	目標の達成度  (支援企業を どう変化させる ことができたか)	<p>ニッポン全国物産展への出展については、販路開拓に熱心な企業の積極的な販路開拓意識と当事業が非常にマッチし、企業からの出展引き合いや申し込みがあった。出展決定企業について、セミナー、交流会、個別相談による支援を実施し、出展会場においてもセミナー講師の専門家に東京池袋の物産展会場に2日間同行していただき、物産展会場にて効果的な物産展出展の準備支援を行い、ニッポン全国物産展（令和3年11月19日から21日の3日間 東京池袋サンシャインシティ）に出展した。</p> <p>各出展企業の積極的な取り組みにより出展企業においては、東京を中心とした関東地方の一般消費者への展示・販売をはじめスーパー、量販店、専門店、通販事業者等バイヤーをはじめテレビ局からの取材・放映に加えて、週刊誌、月刊誌ほか業界紙等や報道関係者等への紹介や商談、引き合い等積極的に展開し、市場の確保と今後の売上に結び付く重要なイベントとなった。各事業者のそれぞれの目標であるところの新商品の宣伝・PR、一般消費者のニーズ把握、市場性調査、バイヤーとの商談、新商品開発のアイデア収集、商品開発の情報交換、マーケティング情報等を通じて、新商品の更なる性能アップや販売方法の研究、新商品開発や販路拡大に相当な目途が立ったところである。また、販売方法の新たな取り組みや、消費者ニーズの取り込み、バイヤーからの商品改良意見の聴取等今後の商品開発や改良のための重要な場となり、出展企業にとって得た情報は計り知れないものとなった。今後は当情報をもとに、各企業の販売促進に一層貢献できるものと思われる。出展企業の熱心な事業取り組みにそれぞれの企業が相当な成果をあげた</p> <p>バイヤーズルームについては、出品した商品の講評をバイヤーが行い、商品の率直な感想・改善点等をフィードバックすることで、出展者にとっては今後の商品開発・改良のための一助になったと思う。</p>							
		代表指標	商談割合						
		数値目標	30%	実績数値	31.6%	目標達成度	105.4%		
		成果の代表事例	<p>出展した小売店の1社は催事出展の経験があまりなく、東京での催事出展も初めてということで、商品の陳列が単純で置くだけのブースであったが、専門家の指導のより装飾などを見直した結果、魅力あるブースになった。売り上げは目標に達しなかったが、目的であった関東の顧客の感触は確かめることができたと思う。試供品を提供したり、即席で販促のグッズを作成するなど、販売の仕方など工夫も見られ、バイヤーからインターネット販売の企画相談を持ちかけられるなどの成果を得た。</p>						
	その他目標値の実績	目標値 (計画)	4,050	目標値 (実績)	4,911	目標達成度	121.3%		
		<p>全国商工会連合会の発表によると、物産展全体の来場者数は3日間で44,199人。西日本ブースのうち3分の1が入場、その3分の1が大阪ブースに立ち寄った。</p>							
実施 結果	課題及び次期 以降への取組み (実績が目標値に 達していない場合 は、その理由や今 後どのようにフォ ローするのか)	<p>ニッポン全国物産展については今年度は新型コロナウイルスにより、例年よりブース数を減らすなど規模を縮小しての開催であったが、大阪ブースはほぼ例年と同様のブース数を確保できた。次年度も今年度同様に規模を縮小して行う可能性があるため、1社でもブースを確保できるよう交渉し、首都圏への販路開拓を行っていききたい。また4年度は新規の事業者に出展してもらうよう、募集の仕方を含めて効果的な方法を検討していく。そして新たに開催するデザイン・マーケティングセミナーに参加した企業に対し、出展してもらうよう呼びかけていきたい。</p>							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	18.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	77.8%	満足率	78.6%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーでは出展者自身に目標の設定、その目標を達成するために行う工夫などを他の出展者と共有することにより、出展に向けて士気を高める機会とした。物産展会場ではブース位置に恵まれない出展者もあったが、商品の販売の仕方を変えるなどの工夫をし、目標値を超える売り上げを残した。								
		指標	交流会やセミナーを通じ物産展出展に必要なノウハウを習得し効果的な商品の販売を行うことのできた事業者の割合							
		数値目標	70%		実績数値	100%		目標達成度	142.9%	
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	250.0%	満足率	80.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	バイヤーからはパッケージデザインや商品のアピールの仕方など、具体的な改善点などが出展者にフィードバックされ、今後の商品改良や販売戦略に活かしていけるものになったと思う。								
		指標	自社商品の付加価値を向上させた企業の割合							
		数値目標	100%		実績数値	100%		目標達成度	100.0%	
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

大阪府商工会連合会

事業名		事業継続計画(BCP)策定支援事業
想定する実施期間		H24 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地震や台風、豪雨などの自然災害や、新型コロナウイルスをはじめとした感染症などのリスクに直面するなか、企業には事業資産への影響を最小限にとどめ、事業の継続や早期の復旧が求められている。そのため、さまざまなリスクに対する企業活動への影響を想定し、発生後の対応措置などを事前に準備しておくことは、事業の継続のみならず企業価値の維持・向上の観点からも重要となっている。 防災・減災の重要性は増している中、依然として中小企業における事業継続計画(以下、BCP)の策定率は低く、今後起こることが想定されている南海トラフ大地震等の災害に対し、一刻も早く対策を行わなければならない。 私たちは、商工会、商工会議所と連携し、大阪府内の経営者に、BCP取り組みの必要性を説いていき、「脅威に負けない大阪の中小企業作り」を進め、結果、大阪府民の事業継続計画作成支援を通じ災害に強い地域の拡大を図る。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内中小零細企業約290,000企業(リーサス調べ)のうち、BCPを策定している企業は大企業に比べ少なく、未策定の府内中小零細企業に対し支援を行う。 既に策定済みの企業にはBCP発動演習(避難訓練)やBCPの見直しなどのブラッシュアップ支援やレジリエンス認証取得準備支援を行う。 BCPの策定の有無に関わらず、新型コロナウイルス感染症マニュアルについては早急に作成していただくよう呼び掛けていく。
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①専門家が企業に2回出向き、現地で企業支援を実施(Aコース) 27社 事業継続計画書、初動・復旧対応手順書の作成など簡易版のBCPを策定支援を実施する。 ②専門家が企業に4回出向き、現地で企業支援を実施(Bコース) 16社 事業継続計画書、初動・復旧対応手順書ならびに事業継続方針等の作成など本格的な策定支援を実施する。 ③専門家が企業に2回出向き、現地で企業支援を実施(Cコース) 29社 策定済みBCPのブラッシュアップ支援の実施、訓練の実施に向けた準備を行う。 ④専門家が企業に3回出向き、現地で企業支援を実施(Dコース) 4社 内閣官房長官国土強靱化推進室が制定した「国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン」に基づくレジリエンス認証取得のために必要な申請手続きについて支援を実施する。 ⑤専門家が企業に2回出向き、現地で企業支援を実施(Eコース) 27社 新型コロナウイルス感染症における予防対策・感染者対策・復旧対応に重点を置いたマニュアルの策定について支援を実施する。 ⑥超簡易版これだけはシート(自然災害版)の策定支援を実施 104社 大阪府が作成した超簡易版これだけはシート(自然災害版)の策定について支援を実施する。
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>
	①府施策連携 大阪府経営支援課経営革新グループと連携し、BCPの啓発並びに策定・見直し、訓練、レジリエンス認証の準備支援を行った。	
	②広域連携 府内商工会・商工会議所連携し、BCP策定支援制度の啓発活動(BCP策定支援制度チラシの配布等)及び策定支援を行った。	
	③市町村連携	
	④相談相乗	

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	203.0	総支援企業数(実績)	207.0	支援実績率	102.0%	満足率	95.2%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	2年度は感染症対策のBCPが多くなり、自然災害対策のBCPの申し込みが少なかったが、3年度はすべてのコース満遍なく、申し込みがあり支援を行った。理由として自治体や業界団体などが当会の支援制度を会員向けに周知していただいた結果であると考え。また事業継続力強化計画の認知度が上がったように感じ、当会への問い合わせも増えた。その反面、レジリエンス認証取得を行う企業は減少した。							
	代表指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続計画(BCP)を策定した企業数</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを策定した企業数</li> </ul>							
	数値目標	100%	実績数値	100.0%	目標達成度	100.0%			
	成果の代表事例	3年度は介護事業者からの申し込みが例年より多かった。6年度より介護施設においてBCPの策定が義務化されることが原因となっていると思われる。支援したデイサービスを行っている事業者は社会的な責任から意欲的であり、次年度は避難訓練をすることを予定している。ただ介護事業のBCPは特殊性があり、なかなか説明しづらい部分があるので、介護事業用のフォーマットを作るなどの対策も考えていく必要があると感じた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォ	BCPは策定するだけでなく、運用しなければ陳腐化し、使えないものになってしまう。当会では現状、一部の企業以外は策定しただけという状況になっている。現在BCPは策定するだけでなく、運用するというフェーズに移行している段階であり、当会としてもこれまでにBCP策定した企業に対して、引き続きブラッシュアップの重要性を伝えていく。また、未策定の企業については商工会・商工会議所と密に連携し、会員へのチラシの配布を含めて周知をしていく予定である。							

大阪府商工会連合会

事業名	経営トピックセミナー配信事業
想定する実施期間	R3 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	経営において重要なテーマではあるが、商工会単独では集客が難しいものについて、連合会が大阪市内でセミナーを実施し、同時に商工会にオンライン配信することで、地域の事業者は地域外（大阪市内など）で行われるセミナーに対して、時間、距離という障壁が解消され、経営力向上への機会をもつことができる。この事業を実施しなかった場合、事業者にとって新たな取り組みへの機会喪失となり、経営力の弱体化等が考えられることから、この事業は大阪府内の事業者の経営力格差を埋めることにつながる。また、商工会の会議室等で事業者にセミナーを視聴してもらうことで、経営指導員との接点を増やし、セミナー後の個別支援を円滑に進められる。
支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内の中小企業・小規模事業者
事業の概要  実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>以下の7テーマを現地開催・商工会への配信・事業所への配信のハイブリッド形式により開催した。</p> <p>①経営革新セミナー 参加企業：56社 日時：令和3年8月24日（火）14時～16時 場所：大阪商工会議所 4階401号会議室 経営革新に取り組もうとする中小・小規模事業者を対象に、制度や支援策、計画策定方法についてや経営革新計画承認企業の事例（2社）についてのセミナーを実施した。</p> <p>②事業承継セミナー 参加企業：48社 日時：令和3年9月30日（木）14時～16時 場所：大阪商工会議所 6階 白鳳の間 親族内承継だけでなく第三者承継やスモールM&amp;Aといった方法があるということを知ってもらい、事業承継に取り組む際に自社の強みとなる知的資産経営について紹介するセミナーを実施した。</p> <p>③テレワークセミナー 参加企業：71社 日時：令和3年7月20日（火）14時～16時 場所：大阪商工会議所 5階502会議室 テレワーク導入に前向きな取り組みをする企業や対応が遅れている企業に、テレワーク導入に関する労務管理、アプリ・ツールの紹介と中小・小規模事業者での導入事例を紹介するセミナーを実施した。</p> <p>④DXセミナー 参加企業：65社 日時：令和3年11月12日（金）14時～16時 場所：大阪商工会議所 5階 502B会議室 中小・小規模事業者ではDXに取り組むのは難しいと考えている企業に向けて、DXについての理解を深め、中小・小規模事業者でのDX導入事例を紹介するセミナーを実施した。</p> <p>⑤人材確保セミナー 参加企業：49社 日時：令和3年10月22日（金）14時～16時 場所：大阪商工会議所 4階 402B会議室 人材確保や人材定着が経営課題となっている中小・小規模事業者が、自社の特徴を洗い出し求人票を作成する際に他社との差別化を図れるようにし、定着において自社の見直しをする内容と「中小企業のための人材採用コンシェルジュ事業」を紹介するセミナーを実施した。</p> <p>⑥ネットショップセミナー 参加企業：66社 日時：令和3年11月26日（金）14時～16時 場所：大阪商工会議所 地下1階 2号会議室 マーケティング戦略について学び、自分の会社にとってどのような手法がより良いか知ってもらい、ネットショップに出店する際にどのような種類や違いがあるのか、どのような選び方をするかを知ってもらう内容のセミナーを実施した。</p> <p>⑦プレスリリースセミナー 参加企業：59社 日時：令和3年12月6日（月）14時～16時 場所：大阪商工会議所 4階 402B号会議室 これまでプレスリリースをしたことがない事業者を対象に、マーケティング戦略やプレスリリースの基本について学び、プレスリリースを活用した情報発信力や売上の向上に取り組めるような内容のセミナーを実施した。</p>



		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>									
		①府施策連携	<p>①経営革新→大阪府経営支援課経営革新グループと連携し、企画段階より協議しセミナーを開催した。</p> <p>②事業承継→大阪府事業承継・引継ぎ支援センターと連携しセミナーを開催した。受講後の相談者を大阪府事業承継・引継ぎ支援センターに繋いだ。</p> <p>③テレワーク→大阪府商工労働部雇用推進室労働環境課と連携しセミナーを開催した。大阪府テレワークサポートデスクについて紹介した。</p> <p>④DX→大阪府産業創造課産業化戦略グループと連携しセミナーを開催した。大阪府DX推進パートナーズの活用について紹介した。</p> <p>⑤人材確保→公益財団法人大阪産業局HR戦略部と連携し、企画段階より協議しセミナーを開催した。</p> <p>⑥ネットショップ→大阪府商業・サービス産業課と連携しセミナーを開催した。ホームページ無料診断の活用について紹介した。</p> <p>⑦プレスリリース→大阪府商業・サービス産業課と連携しセミナーを開催した。大阪府産業デザインセンターの活用について紹介した。</p>								
		②広域連携	大阪府内16商工会と連携を行い、配信を行った。								
		③市町村連携									
		④相談相乗	セミナー受講後、更なる支援として相談を行い各事業所の課題解決につながった。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	534.0	総支援企業数(実績)	414.0	支援実績率	77.5%	満足率	93.5%		
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>①経営革新セミナー 大阪府の経営革新承認制度について理解をするとともに、新分野への進出等の新たな顧客等の獲得と売上向上につながる事業計画作成に取り組む機会となった。</p> <p>②事業承継セミナー 事業承継の必要性を理解をするとともに、親族外の第三者承継について知り、事業承継に備えて知的資産経営報告書等の自社の収益につながっている強みの見える化に取り組む機会となった。</p> <p>③テレワークセミナー テレワーク導入に関する労務管理およびテレワークで活用するアプリ・ツール、情報セキュリティ対策について知ることができ、テレワーク導入を検討する機会となった。</p> <p>④DXセミナー DXについて知り、小規模事業者でも取り組めることを理解し、大阪府の「お困りごとヒアリングシート」に取り組むことで、DXへ第1歩を進める機会となった。</p> <p>⑤人材確保セミナー 人材確保について必要なことを知り、「中小企業のための人材採用コンシェルジュ事業」を活用することにより、人材確保に取り組む機会となった。</p> <p>⑥ネットショップセミナー マーケティング戦略について学び、ITやSNSを活用した集客方法について必要なことを知り、売上向上へ取り組む機会となった。</p> <p>⑦プレスリリースセミナー マーケティング戦略について学び、プレスリリースの活用やWeb活用について必要なことを知り、売上向上へ取り組む機会となった。</p>									
		代表指標	セミナーテーマに対する理解および意識の高まった企業割合								
		数値目標	70%	実績数値	95.2%	目標達成度	136.0%				
		成果の代表事例	事業承継セミナーを受講された方が第三者承継・M&Aについても考えるきっかけとなり、大阪府事業承継・引継ぎ支援センターにつなぐことで、国のデータベースに登録することができ、廃業ではなく前向きに事業承継を進めることができた。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>様々な課題を抱える事業者がテーマにあったセミナーを受講することで、課題解決につながった。経営革新セミナーとテレワークセミナーについては当初予定通り現地開催・商工会への配信・事業所への配信のみだったが、残りの5セミナーでは商工会からの要望もあり後日YouTubeでの配信をした。時間が合わず参加が難しかった事業者も視聴できるようになったので、今後もYouTubeでの配信をしていきたい。</p> <p>テーマによって参加者数や満足度に差があるので、次年度以降は一部のテーマや内容を調整する必要がある。</p>									





大阪府商工会連合会

事業名

経営指導員研修会

想定する実施期間

H20 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の目的  
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

府内商工会議所、商工会の経営指導員に対して、経営支援力向上の為の研修事業を実施する。厳しい経営環境の中、多様化、専門化する大阪の中小企業の皆様からの経営相談に対応できる人材育成を目的とする。

支援する対象  
(業種・事業所数等)

商工会、商工会議所の経営指導員

実施時期・具体的な内容及び事業手法

(b) 経営情報トピックス

開催日	テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者
7/13～7/21	大阪府の小規模事業者支援施策の概要及び経営指導員に求められる役割について	大阪府商工労働部中小企業支援室 経営支援課 経営支援グループ 担当者	配信	講義	51人
10/14～11/15	個人情報の概要と個人情報の安全管理について	個人情報保護委員会 担当者	配信	講義	12人
12/15～1/15	インボイス制度の概要について	大阪国税局 課税第二部 消費税課 担当者	大阪商工会議所 402号会議室	講義	82人
3/3	地域中小企業向け各種補助金制度等の普及・活用について	近畿経済産業局産業部 中小企業課 担当者	大阪商工会議所 2号A会議室	講義	32人

(c) CSR・コンプライアンス・人権

開催日	テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者
9/27～10/29	人権問題の基本的理解	大阪企業人権協議会 研修サポートセンター 担当者	配信	講義	51人
9/27～10/29	同和問題について	大阪企業人権協議会 研修サポートセンター 担当者	配信	講義	47人

(c) 経営相談・地域活性化 ～支援策等の活用を活かした実務支援～

開催日	テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者
7/15	テレワーク実施にかかる手順と施策について	社会保険労務士法人NSR テレワークスタイル推進室 担当者	大阪商工会議所「桜の間」 +ライブ配信	講義□	12人
9/21～10/22	「経営革新計画」承認制度について	大阪府経営支援課経営革新グループ 担当者	配信	講義□	26人
10/18～11/24	大阪府事業承継・引継ぎ支援センターの支援策と活用等について	大阪府事業承継・引継ぎ支援センター 担当者 株式会社パトンス 担当者	配信	講義	26人
11/16～12/17	中小企業の人材確保について	公益財団法人大阪産業局 担当者	配信	講義	28人
11/16～12/17	大阪府DX推進パートナーズの取り組みとソリューション事例について	大阪府商工労働部成長産業振興室 産業創造課 産業化戦略グループ 担当者 株式会社ワイズ・ラブ 担当者	配信	講義	26人
2/28～3/28	コロナ禍の企業支援で活用できるツールのご紹介と実演	中小機構 近畿本部 連携支援部 連携支援課 中小企業支援アドバイザー	配信	講義□	23人
9/21～12/27	ITカ・ITリテラシー向上研修(1) 企業活動とIT	おたま経営事務所 担当者	配信	講義	39人
	ITカ・ITリテラシー向上研修(2) 関連法務と経営戦略マネジメント				39人
	ITカ・ITリテラシー向上研修(3) 技術戦略マネジメント				39人
	ITカ・ITリテラシー向上研修(4) システム戦略				39人
	ITカ・ITリテラシー向上研修(5) 開発技術とプロジェクトマネジメント				39人
	ITカ・ITリテラシー向上研修(6) サービスマネジメントとシステム監査、基本理論とアルゴリズム				39人
	ITカ・ITリテラシー向上研修(7) コンピューターシステムとハードウェア				39人
	ITカ・ITリテラシー向上研修(8) ソフトウェアとデータベース				39人
	ITカ・ITリテラシー向上研修(9) ネットワーク				39人
	ITカ・ITリテラシー向上研修(10) 情報セキュリティ				39人
7/28	DX時代の集団・個別支援手法について	特定非営利活動法人 ヒューリット経営研究所 担当者	大阪商工会議所「403」+ライブ配信	講義□	28人

事業の概要

(c) 中堅～管理職支援の研修会										
開催日	テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者					
1/13	<中堅・管理職経営指導員> 防災体験をしてみましょう!	大阪市立阿倍野防災センター 担当者	あべのタスカル	ワールドワーク	11人					
(a) 新任・若手経営指導員対象の研修会・勉強会										
開催日	テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者					
10/18～ 11/24	<新任経営指導員研修> マルケイ融資の推薦書の書き方について	日本政策金融公庫 大阪支店 担当者	配信	講義□	29人					
12/3	<新任経営指導員研修> 労務の基礎知識強化講座	大阪商工会議所経営指導員 社会保険労務士	大阪商工会議所	講義	30人					
1/31	<新任経営指導員研修> 財務・税務入門講座	税理士・社会保険労務士	配信	講義□	21人					
(e) 中小企業大学校での学習										
開催日	テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者					
8月17日 ～ 9月10日	中小企業支援担当者等研修 税務・財務診断 【旧基礎研修Ⅰ】	中小企業大学校講師	中小企業大学校関西校	講義 グループワーク	2人					
(d) 団体別オーダーメイド研修										
開催日	テーマ	講師等	場所	研修形態	参加者					
7/21	同和問題の基本的理解	大阪企業人権協議会 研修サポートセンター 担当者	大阪府商工会連合会	講義	6人					
6/14	「インスタグラム講座におかえる3 つのステップ」～生きたツールイン スタグラムの活用法～	プロモーションコーディネーター	摂津市商工会	グループワーク□	12人					
10/13	情報セキュリティについて	もりかみ経営事務所 担当者	箕面商工会議所	講義	13人					
12/24	カルテ化について①	合同会社繁盛マネジメント	豊能町商工会	講義	7人					
1/25	カルテ化について②	合同会社繁盛マネジメント	能勢町商工会	講義	6人					
<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>										
①府施策連携										
②広域連携										
③市町村連携										
④相談相乗										
事業 全体 の実績 ／ 目標 達成度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	820.0	総支援企業 数(実績)	971.0	支援 実績率	118.4%	満足率	85.9%	
	目標の達成度  (支援企業を どう変化させる ことができたか)	府内中小・小規模事業者の多岐にわたる経営支援テーマを捉え、最善の研修を行い、経営指導員の支援レベルの向上に務めた。今年度はZoomを利用しての生配信、研修を録画してのアーカイブ配信などを組み合わせることにより、これまでなかなか研修に参加できなかった指導員も研修に参加することができ、参加者は増えた。インボイスの研修は82名が参加し、人権研修に関する研修は例年参加者が少なかったが、令和3年度は50名程度が参加した。								
		代表指標	経営指導員の研修に対する満足度、理解度							
		数値目標	75%	実績数値	82.1%	目標達成度	109.5%			
	成果の代表事例	令和3年度は、DXの推進のため、DXについての研修を複数行った。またITの能力向上のための研修を10回シリーズで行い、経営指導員として最低限持つべきであるITリテラシーを向上させる研修とした。普段指導員があまり触れることのない内容であったので理解度はあまり高くなかったが、業務に活かせるような内容であったという感想も多く、一定の成果はあったと考えられる。								
その他目標値の実績	目標値 (計画)	目標値 (実績)			目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	オンラインでの研修は参加者が増えた反面、個人ワークやグループワークを行う研修が少なくなるなどの課題を残した。またアンケートの回収に苦労したので、回収するためのツール活用を含めて検討していきたい。 研修の内容としては、事業承継・DX・BCPなどの項目を筆頭に税制改正など経営指導員にとってタイムリーな内容を提供できるよう取り組んでいく。								

大阪府商工会連合会

事業名		経営指導員OJT事業							
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪府内全ての商工会の経営指導員の経営支援(経営革新、事業承継、DX、人材確保等支援)能力向上のためにOJTを実施し、多様化、高度化する大阪の中小企業からのあらゆる経営相談に対応できる人材育成を目的とする。 新任経営指導員等OJT対象者のコミュニケーション能力の向上(苦手分野の克服、支援経験の蓄積)、全経営指導員の特定分野の支援能力の向上(高度支援の蓄積)を目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	大阪府内全ての商工会に実施し、結果、大阪府内の中小企業・小規模事業者が支援を享受できる対象となる。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	4月当初から開始し、前年度の事業の進捗状況の確認を行い、経営相談、創業支援、事業計画作成支援、事業継続計画(BCP)策定支援等を重点支援として実施し、年度内に終了した。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
①府施策連携									
②広域連携									
	③市町村連携								
	④相談相乗								
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	96	総支援企業数(実績)	111.0	支援実績率	115.6%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	「ヒト」の部分の人材育成に注力し、商工会の経営指導員にOJTを実施した。 事業終了時には対象経営指導員別目標設定・評価シート等をもとに事業実施前と事業実施後でどの程度支援能力が上がったかを評価。 創業支援、事業計画策定支援□経営革新、事業承継等を重点支援として行った。□ OJT支援は当会職員で実施し当初予定していた、中小企業診断士・税理士・社会保険労務士等の専門家の派遣は、コロナ禍でもあり実施しなかった。							
		代表指標	対象経営指導員の支援スキルが向上した商工会						
		数値目標	16	実績数値	16	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	大阪府内の経営指導員の経営支援スキルが向上し、相談者からの経営相談、事業計画作成支援を実施し、結果、大阪府内の中小企業・小規模事業者の経営が改善された。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	新型コロナウイルス感染拡大の影響で当初計画の通りの支援とはなっていない。また、コロナ禍であるため、訪問人数を絞り、経営指導員OB、専門家の活用が出来なかった。 次年度は、コロナ感染状況を見ながら専門家の派遣を検討する。							

大阪府商工会連合会

事業名		CSR普及啓発事業
想定する実施期間		2020 年度～ 2022 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>国際化・情報化・少子高齢化の進展や社会格差の拡大・地球環境問題の深刻化にともない、企業に関わる人権課題は複雑・多様化し、人権・安全・環境を柱としたCSR経営（CSRを根幹に据えた経営）の確立が社会的な要請となっている。</p> <p>CSR（企業の社会的責任）はあらゆる組織の社会的責任（SR）に拡張され、2010年11月にISO26000（ガイダンス規格）として国際標準化された。</p> <p>また、国連では2015年にSDGs（持続可能な開発目標）が採択され、具体的な達成目標をもってCSRに取り組むことが求められるようになってきている。</p> <p>2014年度～2016年度に実施したCSR経営実態調査及び2017年度より実施しているCSR経営モデル支援事業をふまえ、CSRの普及啓発の強化とCSR経営の推進と組織支援体制の整備に取組み、社会の持続可能な発展に貢献していく。</p>
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内16商工会・20会議所及び府内事業所393,000社
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>CSR経営実態調査と事例集の作成をふまえ、小規模企業への普及も推進できるようにCSR経営の普及啓発に各商工会等と連携して以下の通り、取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度のCSR経営モデル支援事業の検証結果をふまえ、支援マニュアルと支援方法の改善を図りながら、今年度も各商工会等と連携して新規に5社のモデル支援に取り組んだ。</li> <li>・昨年度の支援先のCSR基本計画の具体化に向けた支援（実施計画とCSRレポートの作成）も行った。</li> <li>・昨年度、実施計画作成支援を実施した企業には、PDCAを回しながらCSR活動を継続発展できるようにマネジメントシステムの構築支援に取り組んだ。</li> <li>・昨年度、マネジメントシステム構築支援を実施した企業には、SDGsを意識して目標を見直した実施計画を作成できるようフォローアップに取り組んだ。</li> <li>・モデル支援の実施に当たってはコロナ対応のため、面談に加えオンライン・（ZOOM）電話・メール・FAXを使用しながら支援を行った。</li> <li>・CSR経営の普及啓発を推進するため、各商工会等でCSR経営者リーダー育成研修の実施を基本として、地域中小企業を対象にCSR経営セミナー等を開催した。</li> <li>・コロナ対応を連携先と相談しながら、感染予防対応をとりながらの集合形式やオンラインでのセミナーまたはオンラインと集合形式を併用のハイブリッド研修を行った。</li> <li>・普及啓発用パンフレット（改訂版）を作成配布し、更なる普及啓発と浸透をはかった。</li> <li>・メンタルヘルスセミナーは「新型コロナ」「メンタルヘルス」を切り口に、これまでと異なった状況でのメンタルヘルスマネジメントの具体的な取り組み方に力をいれた講座を提供した。（手法は上記のCSR経営セミナー等と同様）</li> <li>・商工会等のCSR並びにメンタルヘルス経営推進職員の育成を図り、各商工会等におけるCSR経営の普及啓発とCSR経営モデル支援の実施の円滑化およびメンタルヘルスの取組みへの啓発意欲の向上を図った。</li> <li>・3月には、CSRに関心のある企業とCSR先進企業との「CSR交流会」を実施した。</li> <li>・コロナ感染症の影響で1回ではあるが人権研修推進委員会を開催し、全体のとりくみ状況の点検と改善に向けた検討をおこなった。</li> <li>・当連合会においてCSR経営支援マニュアルの改善とCSRスタートアップ登録の認定等の取り組みに向けてCSR経営推進委員会を1回（6月15日）開催した。9月14日と12月・3月と予定していたがコロナの影響で中止となった。</li> </ul> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>
	①府施策連携	
②広域連携	CSR経営の推進にあたっては、テーマや課題が複雑・多様化していることから、商工会等が単独で行うには限界がある。また、推進職員の育成、推進方策の開発やその実施にあたっては商工会・商工会議所と連携して取り組む方が効率的・効果的である。	
③市町村連携		
④相談相乗		

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	1,244.0	総支援企業数(実績)	1,164.0	支援実績率	93.6%	満足率	95.4%	
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>CSR経営実態調査と事例集の作成をふまえ、小規模企業への普及も推進できるようにCSR経営の普及啓発に各商工会等と連携して取り組んだ。昨年度のCSR経営モデル支援事業の検証結果をふまえ、支援マニュアルと支援方法の改善を図りながら、今年度も各商工会等と連携して新規に5社のモデル支援(基本計画作成)に取り組んだ。また、昨年度の支援先5社のCSR基本計画の具体化に向けた支援(実施計画とCSRレポートの作成)も各々5社行った。さらにPDCAを回しながらCSR活動を継続発展できるように4社のSDGsを活用したマネジメントシステムの構築と実施計画を作成できるようフォローアップ支援に取り組んだ。</p> <p>また、モデル支援先と今後取組みたい企業を主な対象にCSR交流会を開催し、満足度は100%であった。CSR経営の普及啓発を推進するため、CSR経営者リーダー育成研修を16商工会で実施し、平均満足度は96.5%と高く、満足度が90%を超えた商工会も13カ所あり、地域リーダーのCSR・人権意識の向上に寄与することができた。CSR経営セミナーは12商工会と1会議所で開催し、249社が参加、平均満足度も97.65%と高く、地域中小企業へのCSR普及啓発に寄与することができた。メンタルヘルスセミナーは8商工会で開催し、平均満足度は99.17%と高く、地域中小企業のメンタルヘルスの意識向上に寄与することができた。CSR経営推進職員育成研修では、企業にCSR経営の進め方を自分で学び考えてもらえるようにCSRスタートアップマニュアルを紹介する研修を実施し、指導員の理解度がより深まった。メンタルヘルス推進職員育成研修でも働き方改革の推進と共にコロナ禍でも不調者をだしにくい企業を目指した具体的な重点を置いた研修で、指導員の理解がより一層深まった。CSR普及啓発推進事業は16商工会・7商工会議所と連携して実施し、395社に普及啓発を行い、満足度は90.88%であった。</p>								
	代表指標	CSR経営に対する意識が高まったと回答								
	数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%				
	成果の代表事例	<p>CSRモデル支援企業の中で、コロナ感染症による様々な影響を受けながらも、CSRやSDGsを意識して自社の未来の計画を見直す企業が増えている。例えば、紙媒体がメインであった事業がデジタルコンテンツ化していく中で、自社の強みをCSRやSDGsの視点で考えることにより、新たな事業の創出につながった事業所もあった。また、SDGsを通じた異業種交流の中でパートナーシップの重要性を感じ、連携することで自社での活動や取り組みを発展させようと思う意欲につながった企業も多く出てきた。さらに、従業員とのコミュニケーションもCSRやSDGsの視点をを用いることで、新たな関係性や気づきに繋がり、社会的価値観の共有から得られるヒントを得て、マネジメントの好循環があったという企業も多く現れた。</p>								
その他目標値の実績	目標値(計画)	70%	目標値(実績)	100%	目標達成度	142.9%				
	CSR経営推進職員育成研修に参加した商工会等の経営指導員のCSRについての理解度									
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>中小企業のCSR経営についての認知度やCSR活動は全体として高まってきているが、CSRの基本的な考え方や取り組み方をISO26000を手引きとして統一していくことで企業の取組みの信頼性向上を図っていく必要がある。</p> <p>また、CSRとSDGsとの関係の整理も課題となっている。今年度実施したCSR経営モデル支援事業の取組みを踏まえ、さらにCSRを広めていくためにSDGsを活用し、より分かりやすく、企業が自ら活用できるマニュアルの普及や支援方法の改善に取り組んでいく。</p> <p>年間2回開催予定の人権研修推進委員会は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、1回目の開催機会を逸した。今年度は、開催手法について早く判断し、必要に応じてオンライン会議などでも予定通りに実施したい。</p>								



【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

(基本計画作成支援)	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	5.0	支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	CSR経営について事前説明→ヒアリング→課題の絞り込み→基本計画の作成という手順を経て、CSR基本計画の作成を行うことで、当該支援企業は自社の理念とCSR経営における課題および優先順位を明確にできた。							
		指標	CSR基本計画作成企業数						
	数値目標	5	実績数値	5	目標達成度	100.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
CSRモデル作成支援事業(実)	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	5.0	支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	CSR基本計画をふまえ、基本計画を具体化するための課題・問題の洗い出し→ステークホルダー(利害関係者)との意見交換→必要に応じて専門家・専門支援機関との調整という手順を経て、CSR実施計画を作成することで、当該支援企業は自社の年間計画にCSR活動を組み込むことができた。							
		指標	CSR実施計画作成企業数						
	数値目標	5	実績数値	5	目標達成度	100.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
(CSRレポート作成支援)	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	5.0	支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	CSR実施計画をふまえ、実施状況の点検→実施結果の検証→成果と課題の確認という手続きを経て、CSRレポートを作成した。							
		指標	CSRレポート作成企業数						
	数値目標	5	実績数値	5	目標達成度	100.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
(CSRモデル構築支援)	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	5.0	支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	CSRレポートをふまえ、改善計画の作成支援→実施状況の点検→実施結果の検証→成果と課題の確認→CSRレポートの作成というPDCAを回すことで、当該支援企業はCSR担当者または担当組織の役割を明確にし、経営計画とCSR活動とを統合することができた。							
		指標	経営統合支援企業数						
	数値目標	5	実績数値	5	目標達成度	100.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
CSR経営フォロー	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	4.0	支援企業数(実績)	4.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	事業所がSDGsを意識して目標を見直し、実施計画を作成できるようになった。							
		指標	CSR経営フォローアップ支援企業数						
	数値目標	4	実績数値	4	目標達成度	100.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
CSR経営者リーダー	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	295.0	支援企業数(実績)	258.0	支援実績率	87.5%	満足率	96.5%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	複雑多様化している人権課題を経営の課題として捉え、地域リーダーとしてCSR・人権課題に積極的に取り組む意欲が向上した。							
		指標	研修の内容を理解し地域リーダーとして役立てたいと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

CSR経営セミナー	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	288.0	支援企業数(実績)	249.0	支援実績率	86.5%	満足率	97.7%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	複雑多様化している人権課題を理解することにより、企業としてCSR・人権課題に取り組む意欲が向上した。							
		指標	CSR経営について理解や関心が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
メンタルヘルスセミナー	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	142.0	支援企業数(実績)	121.0	支援実績率	85.2%	満足率	99.2%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	企業にとってメンタルヘルスの重要性を理解し、具体的な取り組みを知ることににより、メンタルヘルスへの取組み意欲が向上した。							
		指標	メンタルヘルスの取組みへの意欲が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
CSR経営推進職員育成	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	50.0	支援企業数(実績)	39.0	支援実績率	78.0%	満足率	97.4%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	CSRについての最新の知識を習得し、企業にとってCSRに取り組むことの重要性を理解することで企業への啓発意欲が向上した。							
		指標	CSRへの理解度が増し、日頃の経営指導を通じてCSR経営の取組みを啓発する意欲が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
メンタルヘルス推進職員育成研修	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	47.0	支援実績率	156.7%	満足率	97.9%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	メンタルヘルスについての知識を習得し、企業にとってメンタルヘルスに取り組むことの重要性を理解することで企業への啓発意欲が向上した。							
		指標	メンタルヘルスへの理解度が増し、日頃の経営指導を通じてメンタルヘルスの取組みを啓発する意欲が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
CSR経営普及啓発事業	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	385.0	支援企業数(実績)	395.0	支援実績率	102.6%	満足率	90.9%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	「CSR経営啓発パンフレット」「CSR経営事例集」「啓発冊子」等を作成・配布し、経営指導員による地域中小企業等へのCSR経営の普及啓発を行うことで、CSR経営に取り組む事業者の掘り起こしに繋がった。							
		指標	CSR経営についての理解や関心が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値(計画)	393,000	目標値(実績)	393,000	目標達成度	100.0%			
CSR交流会	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	29.0	支援実績率	96.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	CSR先進企業との交流を通じて地域中小企業のCSR経営に対する意識や人権に対する意識の向上が図られ、企業経営の健全化につながった。							
		指標	CSR先進企業との交流でCSR経営や人権意識が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

大阪府商工会連合会

事業名		SB/CB創出支援事業	
想定する実施期間		2020 年度～ 2022 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>阪神大震災及び東日本大震災でのボランティア活動やその後の継続的な支援の経験が契機となって、地域や社会の課題解決に取り組む市民・NPO・企業が増え、SB（ソーシャルビジネス）・CB（コミュニティビジネス）への社会の関心も高まってきた。</p> <p>しかし、SB/CBもビジネスである限りは課題解決の成果と適正な利益、組織としての社会的責任を果たしていく必要があるが、「非営利」（課題解決が使命）に関する誤解がその健全な発展を妨げるという課題もある。</p> <p>SB/CBの普及に伴い、企業が地域や社会の課題解決にビジネスとして取り組む事例も増え、結果として収益の改善や企業の再生にもつながる等注目されるようになったが、自社の新たなビジネスの展開としてではなく、本業外の社会貢献活動とだけとらえる傾向が強く、SB/CB事業者と連携したり、自社の事業に地域や社会の課題解決を組み込む中小企業を増やしていくことも課題となっている。</p> <p>しかし他方では、本連合会が作成したSB/CB事例集でも紹介したように、商工会等においても支援実績が着実に増加している。</p> <p>また、企業とNPOと大学などのコラボレーションなど社会課題の解決に向けた取り組みも推進されている。そのような時代の変化の中、商工会等の支援能力のさらなる向上を図るため、引き続き商工会等におけるSB/CB担当者の育成を図る。</p> <p>また、地域や社会の課題解決を自社のビジネスに組み込む中小企業を増やしていくため、商工会等と連携して普及啓発・地域交流・地域連携の推進を図り、SDGsの推進という新たな視点を持って地域共生のまちづくりへとつなげていく。</p>	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	府内16商工会・20会議所	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>各商工会等の経営指導員を対象にSB/CB推進職員育成研修を実施した。</p> <p>各商工会等と連携して、広域でSB/CB支援セミナーや交流会およびNPO育成セミナーを開催した。</p> <p>また、創業塾（創業塾・ハンドメイド創業塾）を通じて地域貢献型事業の創出を促進し、IT活用講座によって経営実務のレベルアップを図り、チャレンジショップで創業塾修了生の起業準備を支援した。</p> <p>さらに、各地域でSB/CBに取り組む団体・企業等の事業連携・販路拡大を支援するため、ブロックを単位としてSB/CB交流会を開催するとともに、ブロックを超えての事業連携・販路拡大支援のためにSB/CB視察研修も開催した。</p> <p>また、SB/CB事業者の交流会等も開催した。</p> <p>セミナーや交流会についての実施手法は、原則集合形式の研修や交流会であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策のため、WEBを利用したセミナーや交流会も実施した。</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p>	
	①府施策連携		
②広域連携	SB/CBに取り組む企業やNPO等は活動領域や地域との関係も多様であるため、広域連携での支援体制を確立していくことが必要である。また、まちづくりや地域の活性化に向けて地域中小企業とSB/CBに取り組む企業やNPO等の交流や連携の推進も重要となっている。		
③市町村連携			
④相談相乗			

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	714.0	総支援企業数(実績)	680.5	支援実績率	95.3%	満足率	94.8%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>SB/CB推進職員育成研修も11年目となり、満足度は97.7%と高く、理解度も着実に高まった。SB/CB事業連携促進事業も計画数を超えて普及啓発に努め、セミナー・交流会への参加を掘り起した。</p> <p>商工会等と連携してSB/CB創出支援セミナーを実施し、満足度は100%を得た。</p> <p>4ブロック(13商工会3会議所)で開催したブロックSB/CB交流会は、103社の参加者を集め、参加者の満足度は100%と高かった。「広域」で行ったSB/CB事業者交流会は計画数には達しなかったが満足度は100%と高く、交流会等の中心となる事業者が集い、地域を越えての連携やまちづくりへの取り組み意欲を促進することができた。</p> <p>また、3ブロック(6商工会・2会議所)でのSB/CB視察研修は、体験交流による相互学習で現地で実際にSB事業の取組みに触れることにより、さらにSB/CBについての理解が深まった。</p> <p>また、年々事業意欲の高いNPOが増えていることから、NPO育成セミナーを今年度も開催し、NPO会計についての研修を行った。</p>							
	代表指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答							
	数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%			
	成果の代表事例	<p>府内4ブロックで開催したSB/CBブロック交流会では、ソーシャルビジネス実践企業の取り組み報告に共感した参加事業者たちが、地域や社会の課題解決に積極的に取り組みたいという機運が高まった。また、地域や社会課題をキーワードにした連携をのぞむ参加者が多数みられた。さらに社会課題解決から多様な課題を取り上げグループワークや交流を行ったことを通して経営指導員のSB/CB推進職員研修では取組意欲が益々向上し、SB/CB事業への取組み相談も増加しつつある。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>普及啓発・セミナー・交流会・視察研修等の取り組みを通じて地域中小企業等のSB/CBについての理解や認識を高めることができた。</p> <p>しかし、実際に支援で落とし込む具体的な支援方法など、今後の普及啓発の課題も明らかになった。</p> <p>さらに地域課題や地域の活性化プランについて交流会で話し合ったり、グループワークで企業やNPOの課題を話し合ったりしたが、商工会等との結果の共有と日常の連携による具体的取り組みの推進も今後の課題となっている。</p> <p>これらの取り組みを事業創出・経営改善・事業連携・地域活性化・まちづくりへとつなげていくために、事前の準備と事後のフォローを充実させていく。</p>							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

S B / C B 創 出 支 援 セ ミ ナ ー	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	43.0	支援企業 数(実績)	45.0	支援 実績率	104.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	アンケートによる意識調査を実施。企業にSB/CB事業を紹介し、交流会につながった。							
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の 実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				
S B / C B 事 業 者 交 流 会	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	20.0	支援企業 数(実績)	14.0	支援 実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	経験交流による事業意識の向上、事業連携の促進がはかれた。							
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の 実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				
S B / C B 推 進 職 員 育 成 研 修	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	50.0	支援企業 数(実績)	42.0	支援 実績率	84.0%	満足率	97.6%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	経営指導員のSB/CB事業者についての認識を深め、サポート能力の向上がはかれた。							
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の 実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				
N P O 育 成 セ ミ ナ ー	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	20.0	支援企業 数(実績)	15.0	支援 実績率	75.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	改正NPO法の趣旨をふまえ、日常の経理処理も含めた知識の提供でNPOの実務能力の向上をはかれた。							
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の 実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				
S B / C B 視 察 研 修 ( 参 加 )	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	48.0	支援企業 数(実績)	34.0	支援 実績率	70.8%	満足率	97.1%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	ブロックを超えた広域でのSB/CB事業者の現場視察と意見交換で、企業等とのマッチングが促進できた。							
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の 実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				
S B / C B 視 察 研 修 ( 受 入 )	計画に対する 実績(数値)	支援企業 数(計画)	3.0	支援企業 数(実績)	3.0	支援 実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	SB/CB事業実践者として、ブロックを超えた広域での現場視察受け入れて、企業等とのマッチングが促進できた。							
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答						
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
その他目標値の 実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				

創業塾	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	95.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	事業コンセプトの明確化をはかる研修と参加者交流で、地域や社会貢献の視点を重視した創業意識を醸成することができた。								
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答							
	その他目標値の実績	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
チャレンジショップ	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	5.0	支援企業数(実績)	5.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	創業塾(ステップアップ)・ハンドメイド創業塾修了生のマーケティング力の向上がはかれた。								
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答							
	その他目標値の実績	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
IT活用講座	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	12.0	支援実績率	120.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	SB/CB事業者等の事務実務能力・ビジネスでのIT活用力の向上とパソコン会計の導入、導入事業者のフォローがはかれた。								
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答							
	その他目標値の実績	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
SB/CB事業連携促進	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	370.0	支援企業数(実績)	379.5	支援実績率	102.6%	満足率	91.4%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	「SB/CB啓発パンフレット」等を作成・配布し、経営指導員による地域中小企業等への普及啓発を行うことで、SB/CBの視点からニーズを探る重要性にも気づき、SB/CB交流会等への今後の参加意欲に繋がった。								
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答							
	その他目標値の実績	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
ブロッコリーストック交流会/CB交	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	110.0	支援企業数(実績)	94.0	支援実績率	85.5%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	SB/CB事業者と企業等とのマッチングの促進がはかれた。								
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答							
	その他目標値の実績	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
ハンドメイド創業塾	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	106.7%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	実践に役立つ研修で、ものづくりの楽しさだけでなく、経営感覚の醸成ができた。								
		指標	経営意識または地域貢献意識が高まったと回答							
	その他目標値の実績	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			